

認知症施策に関する意見交換 関係者紹介

とうきょう認知症希望大使
さとうみき氏

武蔵野市在住

大学病院等で秘書として勤務してきた。
43歳の時にアルツハイマー型認知症の診断を受けた後、デイサービスの当事者スタッフとして勤務し、執筆、講演、ピアサポート活動を行う。また、子どもたちとの語り、学生への講義にも力を入れている。

【さとうさんから一言】

認知症は特別なことではありません。目の前の人を「ひとりの人」として出会い「認」め合い、「知」ること。「わたしを生きる」「いまを生きる」の言葉を大切に。私たちは「ひと足先に認知症になっただけ」

東京都ホームページより

NPO法人武蔵野すこやか
理事長 星田正氏

武蔵野市在住

大学卒業後、大手総合素材メーカーに長年にわたって勤務し、平成16年に退職。

平成23年よりNPO法人武蔵野すこやか理事長。武蔵野地域自由大学市民博士。

【NPO法人武蔵野すこやか】

2004～05（平成16～17）年度に武蔵野市で行った認知症予防モデル事業をきっかけに誕生した団体。2011（平成23）年からはNPO法人として活動。

東京都ホームページより